

回生 ニュース

K a i s e i N e w s

特定医療法人斎寿会回生病院

50号

2010.1月発行

発行/特定医療法人斎寿会回生病院

編集/鈴鹿回生病院

所在地/鈴鹿市国府町112番地1

TEL/059-375-1212

FAX/059-375-1717

URL/http://www.kaiseihp.com

編集協力/TCK Nagoya



特定医療法人斎寿会回生病院
理事長 長谷川 静生

新たな一歩

早いもので新体制が発足して1年が経過しました。昨年は中期的な指針として「1質の向上」「2標準化」「3社会性」この3つの目標を掲げ、実現に向けての第一歩として幹部職員との忌憚のない面談から始めました。これからの新しい病院の将来について、またその為に今しておかなければならないことについて話し合う有意義な時間が持てたと思っています。その中ではさまざまな提案もあり幾つかの案件については既に実行に移されているものもあります。各々が自分の病院像を持っており、病院の未来に明るさを感じることができ大変嬉しく思いました。

診断の「質」を上げるため、今年4月の稼働を目指して3.0テスラMRIの導入を決定しました。現在担当部署で準備作業を急いでいるところですが、北勢地区初の大型機器で特に脳神経疾患、整形外科分野に高い機能を発揮した救急医療の大きな武器になってくれることを期待しているところです。そして整備の実現には周辺自治体のご理解があったことを報告し感



2010年

あけまして

おめでとうございます

謝を申し上げなければなりません。

もうひとつ私たちにとって喜ばしいことがありました。回生病院の寄附講座として、加藤公先生が三重大学大学院医学系研究科スポーツ整形外科学講座の教授に就任されたことです。大学の計らいで学問教育は大学で、診療実践は当院で行っていただくことになっています。このことはひとつの「社会性」の実現であり、学術的な部分と実務的な部分の双方が病院に育ってくれたら良いと願っています。

今年は世の中が大きなうねりを始めた様な気がします。医療界も例外ではありません。制度的にも大きな変革があるでしょうし変化に対する適応力が求められる時代になったと言うことでしょうか。世間がどのように変わっていくのか、常にアンテナを立てて置かなければならないと思っています。地域の方々が私たちに何を求めているのか鈍感であってはならないのです。そしてそのアンテナから得た情報を全員のものとして、更に地域社会に貢献できるような新たな一歩を踏みだそうと思います。

新年のご挨拶

あけまして

おめでとうございます



鈴鹿回生病院
院長
田中 公

昨年は、4月にフィルムレスシステムを導入し、診察室や病棟で詳細な画像をすぐに見ることが出来るようになりました。これにより過去の画像とも比較しやすく、患者さんにもよく分かっていただくことができ、大変喜ばれています。

また昨年より運用している、インターネットを通じて当院の電子カルテの内容をかかりつけ医の先生が閲覧できるシステムですが、本年度は運用方法を簡略化し、もう少し使いやすいシステムに変えていきたいと考えています。また、かかりつけ医の先生がインターネットを介して当院の検査予約ができるようなシステムを構築して、

より利用しやすい物に変えていくことでますます病診連携を強化してまいりたいと思います。

今年は、最新鋭の3.0テスラのMRIを導入し、3月から稼働させる予定です。まだまだ全国的にも導入している病院は少なく、これにより、より精密な診断ができるようになります。いろいろな方に大いに利用していただければと思います。

今年も地域の基幹病院として、心あたたかい医療、自分の大切な人を任せられる医療を行い、皆さんに信頼していただける病院を目指してまいります。



鈴鹿回生病院附属クリニック
院長
坂倉 康夫

毎年の最大課題である「待ち時間の短縮」については、年間を通じて改善に向け努力いたします。待ち時間が長く感ずるか、短く思えるかについては職員の対応にも影響されると考えられます。そこで本年の目標としては、

1. 全職員が、接遇意識を高めること。

患者さんは心も体も傷ついた方々であるという意識をもって木目細やかで丁寧な対応が大切です。全員が癒しといたわりに根ざした対応を意識することで、接遇レベルの底上げを目指します。

2. 通院で高度な医療を受けられるよう専門外来の充実。

従来までの本クリニックには15の専

門外来があり、より高度で専門的な医療を提供してきました。昨年は耳鼻咽喉科、神経内科、リハビリテーション科の3科合同で「嚥下障害センター」を開設しました。安心して口から食べる喜びを回復し、嚥下性肺炎などの生命にかかわる病気を予防する外来です。もう一つは神経内科に設置された「もの忘れ外来」です。最近もの忘れが多いので認知症ではないかとの心配の方はお気軽に受診してください。本年度はこの新設の特殊外来を充実させていきます。この2点を重点項目として職員一同が力を合わせ、地域の皆さんが安心してかかることのできる信頼されるクリニックを目指します。

連携医療機関紹介

浦川内科クリニック



▶ 院長の浦川毅先生



◀ 副院長の浦川英己先生

5月にリニューアルしました。

浦川内科クリニックは、神戸中学校の東側の閑静な住宅街にあります。

院長の浦川毅先生は昭和43年に三重大学をご卒業後、三重大学病院、村瀬病院での勤務医をご経て、昭和59年1月に浦川胃腸科内科を開業されました。当初は日曜診療をされていたようですが、日曜診療については、「水曜会」（商売人の集まり）のメンバーに「『石の上にも三年』開業したらせめて3年は日曜午後診療をすべきだ!」とアドバイスもらったことから。当時この地域には日曜診療をしているクリニックは珍しく、開業当初から患者さんは多かったそうです。数年経過して「休みが欲しい」という職員からの要望が増え、現在の診療体制になりました。

副院長でご子息の浦川英己先生は、平成10年藤田保健衛生大学をご卒業後、三重大学第3内科入局。桑名市民病院、山田赤十字病院などで勤務医をご経験、糖尿病専門医としてご活躍されていました。平成21年5月1日より副院長として診療に加わりました。これを機に旧浦川胃腸科内科から浦川内科クリニックと名前を改め、院長が消化器内科一般を、副院長が糖尿病を、それぞれの持ち味を生かして診療されています。

気軽に相談してください。

糖尿病専門医である英己先生に、患者さんへのメッセージを伺いました。

～最近テレビ番組などで、病気を特集したものがたくさんあります。それを観て、「私は糖尿病かも」と不安を抱かれる患者さんも少なくありません。悩んでいないでそんな時は相談して欲しいですね。血液検査で糖が高めであれば、さらに詳しく調べるブドウ糖負荷試験をおすすめしています。この検査により、正常型・境界型・糖尿病型の判定を行い、糖尿病と診断されれば合併症の有無を調べる必要があります。



当院で出来ない検査については、回生病院さんなどの大きな病院に紹介させていただきます。また、境界型とは糖尿病に次ぐ高い血糖値の群で、糖尿病になりやすい人（糖尿病予備群）と思われます。ただ、境界型と診断されても必ず糖尿病になるわけではなく、適切な食事の摂取と運動によって肥満を防ぎ、正常範囲に血糖値を保つことができれば、糖尿病発症を防ぐことができます。そのためには、糖尿病や境界型についての十分な知識を持っていただきたいのです。私たち開業医の役目は、ちょっとした不安や悩みなどをお持ちの患者さんに、気軽に相談してもらい、答えてあげることだと思っています。患者さんが話しやすい地域のかかりつけ医を目指しています～



DATA

TEL 059-382-6611

住所

鈴鹿市神戸8-8-20

診療科目

●内科●糖尿病内科●消化器内科

診療時間

午前／8時30分～13時00分

午後／3時00分～7時00分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

休診日

木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

ホームページ

<http://www.myclinic.ne.jp/urakawa/pc/>



健康の秘訣は、毎日歩くことと趣味である花や野菜を育てることだとおっしゃる院長先生。クリニック周りの色あざやかな花。実はこれ、院長先生が育てた花だそうです。伺った日、近くにある先生の畑に連れて行ってくださいました。畑にはパンジーや葉牡丹などが咲いており、「これが終わったらチューリップを植えるんですよ」とうれしそうに話してくださいました。畑に向かう道中、地域の方が先生に手をふる姿があちらこちらで見られました。今後も地域のかかりつけ医として、親子で活躍されることでしょう。





鈴鹿回生病院
顧問
水本 龍二

水本龍二先生 瑞宝中綬章受章

11月3日に平成21年度秋の叙勲受章者が発表され、当院の顧問である水本龍二先生が瑞宝中綬章を受章されました。

この瑞宝章は公的業務に長年従事、成果を挙げた人に授与されるもので、水本先生のその長年にわたる教育研究が高く評価されたものです。

水本先生は、昭和30年代初頭、手術侵襲に対する生体反応につき内分泌学的なお立場から研究を重ね医学博士の学位を取得。その後は「がんに対する生体の防御機構」をテーマに研究を続け、これにより日本対ガン協会主催のガン研究奨励金を授与され、以後一貫して癌の研究に取り組んでこられました。当時は未開拓の部分であった「肝臓、胆道、膵臓外科」の臨床と研究に取り組み、本邦における先駆的業績の多くに関わり、以後斯界での指導的立場を不動のものとされ、国際的にも高い評価を得ています。現在、三重大学はもとより、第一外科関連施設からは毎年優れた専門医を輩出し、専門医試験の合格率ならびに合格者数も全国トップを堅持。加えて教授就任以来、多くの優れた指導医を育成し、三重県下の外科診療レベルを飛躍的に向上させ、後進の育成に貢献されました。

水本先生から受章におけるコメントをいただきましたので紹介させていただきます。

この瑞宝章というのはあくまで教育研究功労者にあたえられるものです。肝・胆・膵専門外科医として臨床に携わってきた私としましては、外科医の腕、臨床面を評価して欲しいところですが、臨床面における叙勲制度はないので仕方ないですね。ただ、誠意をもって臨床と教育・研究に当たってきたことに、国家的評価を受けて非常に光栄です。夢中になって未開拓の肝臓・胆道・膵臓外科に取り組み、先駆的業績の多くに関わられて満足しています。私の門下生たちが教授となり活躍していること、落門する者がいなかったのもとても喜ばしいことです。

私は今年80歳になります。現在でも、大学現役時代と同じように、論文を読むことが老化防止の秘訣です。受章式の際天皇が「健康に留意されてお元気でお過ごし下さい」とおっしゃられたように、この年ですから「ますますのご活躍」とは参りませんが、後進の相談役としてすごしていく所存です。

略 歴

昭和30年3月金沢大学医学部卒業
昭和35年3月金沢大学大学院修了
昭和35年4月金沢大学医学部助手（第2外科）
昭和40年5月京都大学医学部助手（第1外科）
昭和40年10月京都大学医学部附属病院講師（第1外科）
昭和42年10月Harvard大学Research Fellow:Boston City Hospital 昭和43年10月まで（文部省長期在外研究員）
昭和51年6月京都大学医学部助教授（第1外科）
昭和51年9月三重大学医学部教授（第1外科）
昭和62年4月三重大学医学部附属病院長（併任）平成元年3月まで（1期2年）
同年、5月全国国立大学病院長会議議長（津市で開催）
平成3年4月三重大学医学部部長（併任）停年まで（1期半3年）
平成6年3月同上停年退官 同年5月三重大学名誉教授
平成6年4月松阪市民病院長
平成12年11月全国自治体病院協議会近畿・東海地方会議議長（松阪市で開催）
平成14年3月松阪市民病院退職
平成14年4月松阪市民病院名誉院長
平成14年5月鈴鹿回生病院顧問
現在に至る

日本国天皇
回生病院.com
水本龍二先生に
瑞宝中綬章を授与す



シリーズ スポーツ障害 ～腰椎分離症～

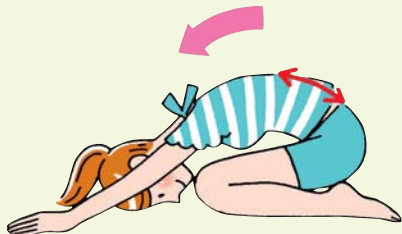
腰椎分離症とは、積極的にスポーツを行っている小学校低学年～中学生に多く、
運動をすると痛みが出ますが普段は症状が無い状態をいいます。背中を反らす動
作や同じ姿勢を長く続けていると腰からお尻にかけて疼痛が増すのが特徴です。

リハビリテーション課
理学療法士
間島 展華



背筋のストレッチング

：正座をして体を丸めましょう。



太ももの前の筋肉のストレッチング

：片膝を曲げ徐々に体を後方へ倒しましょう。



太ももの後ろの筋肉のストレッチング

：両足を広げ、片側ずつ体を前方に倒しましょう。



腹筋の筋力増強訓練

：膝を立てて、おへそを覗きましょう。



1) 急性期：安静を保ちコルセットを装着します。

※装着期間に関しては主治医に相談してください。(目安として3ヶ月程度)

2) 亜急性期：許可が出たら徐々に運動を始めましょう。

Point

※ストレッチングは反動をつけず、20～30秒程度ゆっくり息を吐きながら、伸ばしてください。

※腹筋は20回を目安に行い、痛みが強くなったら中止してください。

※症状など個人差があります。痛みを伴う場合は中止し、早めに医師にご相談ください。

発信@

栄養管理室

管理栄養士
岡 久美子



●だいこん

大根にはジアスターゼという消化酵素が豊富に含まれており、でんぷんの消化を助けるので“ごはんの友”と言えますが、加熱に弱いので本当は“大根おろし”などの生食がお勧めです。しかし冬の定番“おでん”に使うなら、長時間煮込んでも肉崩れしにくい真ん中の部分を使用するとよいでしょう。一方、大根の葉はβ-カロテン、カルシウム、鉄分、ビタミンCなどが豊富に含まれる緑黄色野菜なので、捨てずに炒め物やふりかけにして食べましょう。

●他の食材との組み合わせ

大根には葉酸とビタミンCが比較的豊富な以外これといって目立った栄養素はありませんので、大根の葉などの緑黄色野菜と一緒に摂取することで不足するβ-カロテンやビタミンE、カルシウムなどが補えます。さらに、豚肉と一緒に摂取すれば不足するたんぱく質やビタミンB1のほか、肉に含まれる脂肪分がβ-カロテンなどの吸収率を高めてくれます。

ピックアップ食材 だいこん

大根と豚バラ肉の旨煮

【材料】4人分

大根	1本
豚バラ肉	500g程度
油	適量
人参	1本
干しシイタケ	8枚
白ネギの青い部分	1本分
生姜	50g
八角	1個
酒	1Cup
濃口醤油	1/2 Cup
みりん	1/2 Cup
砂糖	大さじ3
水	1Cup
マスタード	適量

【栄養成分】1人分

エネルギー	394kcal
たんぱく質	13.2g
脂質	28.5g
塩分	1.4g
食物繊維	3.4g

※八角(スターアニス)
中国南部原産のモクレン科の実を乾燥させた八角状の星形をしているスパイスで、良い香りとはのかな苦味があります。



【作り方】

- ① 干しいたけは水で戻して、石づきをとっておく。
- ② フライパンに油をひいて豚肉の表面に焼き色をつける。
- ③ 圧力鍋に②を入れ、肉がちょうど浸る位の水とネギの青い部分をいれる。
- ④ 蓋をして強火にし、圧力鍋の分銅がゆれ始めたら弱火にして20分加熱し、火を止めて蒸らす。圧がぬけたら豚肉を取り出し4等分する。
- ⑤ 大根・人参は3～4cmの輪切りにし、角を薄くそぎとる。(面取り)
- ⑥ 圧力鍋に大根・人参・干しいたけ・スライスした生姜・豚肉・八角(※)・Aを加え、蓋をして強火にし、圧力鍋の分銅がゆれ始めたら弱火にして10分加熱し、火を止めて蒸らす。
- ⑦ 器に盛り付け、マスタードを添えて出来上がり。

鈴鹿少年野球教室

今年も鈴鹿少年野球教室が11月14日(土)に開催されました。18チーム、約200名の球児たちが参加。「天地会」(阪神タイガースOB)のメンバーである吉田義男元監督らによる指導を受け、真剣に取り組んでいました。



Xmasコンサート

12月19日(土)恒例のクリスマスコンサートが開催されました。ハンドベル演奏、三味線演奏に加え今回はゲストとしてアンサンブルマミーの皆さんにご参加いただきました。



鈴鹿シティマラソン

12月20日(日)第12回鈴鹿シティマラソンが行われました。当日は医科学相談コーナーを設置し、出場者からの質問に当院の専門医師をはじめ理学療法士、アスレチックトレーナーが対応。また救護係として走者のサポートを行いました。



第5回健康セミナーを開催します

2月20日(土)13:30~、研修医棟3階にて健康セミナーを開催します。ぜひご参加ください!



講話内容 コレステロール、中性脂肪について(医師、薬剤師、栄養士等の講話)
女性特有のがんpart2:子宮がん検診の必要性について(医師講話)
*他、運動をやってみよう!簡易骨密度測定、食品展示等。詳細は院内配布資料にて。

加藤先生テレビ出演中

毎週月曜~金曜 三重テレビ(夕方 6:00~6:55生放送)の「とってもワクドキ!」に、当院の加藤先生が火曜日/月2回出演中です。『熱血スポーツ&グルメ!』コーナーにて活躍しています。ぜひご覧ください。



今号のお知らせ

よくわかる脳卒中

テーマ

講座当日は寒空の中にも関わらず300名を超える多数の市民の皆さんにご参加いただき、当院金丸医師をはじめ4名の医師により脳卒中に関する講演を行いました。講演終了後、市民の皆さんからのご質問にお答えするコーナーを設けて有意義なディスカッションが行われ皆さんの脳卒中への関心の高さが伺える良い講演会となりました。

第一回亀山市脳卒中市民講座

開催しました



編集後記

今回は「新年のご挨拶」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-8505
三重県鈴鹿市国府町112番地
TEL059-375-1212
✉ mail:info@kaiseihp.com



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院玄関)

開設の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として皆さんの医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 患者さんの生命と個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し 患者さん中心の医療を行います
- ▶ 医療の質を向上させ 時代の要請する医療水準を保ちます

私たちの目標

- ▶ 誰もが適切な医療を平等に受けられるようにします
- ▶ 診療内容・医療情報を適切に説明し 患者さんが最適な医療を選択できるようにします
- ▶ 医療環境を整備し 快適に診療が受けられるようにします